

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第39号

2017.9.12 発行

鳥海ダム工事事務所の新庁舎建築工事において 安全祈願祭が行われました!!

～ 工事中の安全を祈願して施工業者と事務所職員が参列 ～

平成29年8月21日(月)に、工事中の安全を祈願して「鳥海ダム工事事務所庁舎建築工事安全祈願祭」が行われました。

安全祈願祭には、工事施工業者3社の他、長内鳥海ダム工事事務所長をはじめ、新庁舎の工事担当職員が参列し、厳かに執り行われました。

この安全祈願祭を受け、9月4日(月)から基礎工事に着手し、平成30年2月の完成を目指し、工事を進めていきます。



▲「降神の儀」の状況

▲「切麻散米の儀」の状況



▲事務所長による「鍬入れの儀」

▲事務所長による「玉串奉奠」

事務所にインターンシップで高校生が来ました!!

～ 地元高校生による就業体験の実施 ～

平成29年9月5日～7日までの3日間、県立西目高等学校総合学科土木コースの2年生2名が、鳥海ダム工事事務所において就業体験を行いました。

◆9月5日(火)

午前中は東北地方整備局の仕事(河川、ダム、道路など)や、ダムの役割、ダムを造るまでの過程、環境影響評価の概要などを勉強しました。午後からは鳥海ダムの水理特性を学ぶため流域平均雨量の計算を演習しました。

◆9月6日(水)

午前中は直根地区の体育館でボーリングコアを観察し、器具を使ったコアの反発係数測定の実験をしました。午後からは子吉川に架かる吊り橋を渡って、仮排水トンネルの建設予定地などを見学をしました。

◆9月7日(木)

最終日は、月山ダム(山形県鶴岡市)を見学し、ダムの運用方法や効果を学びました。午後からはダムに関する演習問題と3日間学習したことのとりまとめを行い就業体験を終えました。3日間本当にお疲れ様でした。



▲流域平均雨量の計算



▲ボーリングコアの説明を熱心に聞く実習生



▲吊り橋を渡って現場に移動中



▲月山ダムでダムの効果などを学ぶ



▲ダムに関する演習問題を必死に解く



▲パソコンで3日間の学習のとりまとめ

編集後記

9月に入り、夏の暑さも次第に緩みつつ、朝晩の気温は寒さを感じる頃となってきました。気候としても、これから「台風の季節」に入ってきます。普段からの防災に対して、各々準備や訓練などを行っている事とは思いますが、災害が起きる可能性が高い時期になりますので、今一度、災害に備えた準備の再確認等をよろしくお願い致します。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

編集・発行 国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス thr-chokai01@mlit.go.jp